

女性が職場や地域で活躍できる社会の実現に向け、民間企業と県で働く女性で構成されるプロジェクトチームを設置し、官民一体によるラウンドテーブル（自由な意見交換の場）を企画・運営

## 目的

次代を担う秋田の女性を応援し、相互研鑽できる場として、Webを活用した定期的なラウンドテーブルを開催し、官民一体で女性自身の意識改革を図りながら、県内で働く女性のネットワーク化に繋げる。

＊プロジェクトチーム（2021年12月に発足）【民間企業スタッフ（10名）・県スタッフ（2名）】

## ラウンドテーブルの構成

	講演会	ワークショップ
概要	<p>【講演を通じた学びの場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 毎回異なる講師・テーマを設定</li> <li>◇ 参加者を広く募集し、オンライン参加も可能</li> <li>◇ 興味のある方は、どなたでも参加可能</li> </ul>	<p>【ワークショップを通じた交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 参加者は、高校生～社会人までの女性</li> <li>◇ 女性のキャリアアップや思い描く女性リーダー像など、自由に意見交換を実施</li> </ul> <p>※事前に登録された学校や企業の女性限定</p>
		

## 令和5年度スケジュール

令和5年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キックオフ ミーティング	準備 (全体会議等)	第1回 講演会	準備	準備	準備 (全体会議等)	準備	第2回 講演会	準備	準備	準備	準備
	↔	第1回 WS	↔	第2回 WS	↔	第3回 WS	↔	第4回 WS			今年度の振り返り 次年度の検討

## 目指すゴール

- ◆ 女性の挑戦や活躍への意識改革の推進
- ◆ 企業や地域の枠を超え、女性同士のネットワークの構築・拡大
- ◆ 生き生きと働き続けられるモチベーション、コミュニケーション能力の向上
- ◆ 今後のキャリアアップを見据えたスキルの習得、視野拡大
- ◆ 自分にあったビジョン・ライフプランが描けるようになる

継続的に優秀な人材を輩出できる仕組みと育成の場の構築  
(女性活躍のプラットフォーム)

女性一人ひとりが輝く居場所を持ち、いきいきと活躍できる秋田をつくる

# 女性の活躍推進プロジェクト「ラウンドテーブル」について

## ➤ 令和5年度の実施状況

開催日	講演会	ワークショップ
第7回 (R5.6.2)	SOMPO ジャパンクレジット株式会社 代表取締役社長 野間 和子 氏 テーマ「D E & I で一歩未来に踏み出そう！」  <会場190名・オンライン約340名>	テーマ 『自分を知って、相手を知ろう！』  <社会人33名・大学生5名・高校生15名>
第8回 (R5.9.4)	※ワークショップのみの開催	話題提供 秋田魁新報社 文化部 次長 石塚 陽子 氏 テーマ 『理想や経験談』  <社会人28名・大学生3名・高校生14名>
第9回 (R5.11.13)	第一生命保険株式会社 人事部長 井口 早苗 氏	テーマ 『今後のキャリアや年間目標』 (予定)
第10回 (R6.1月)	※ワークショップのみの開催	テーマ 『今後・将来に向けての取組』 (予定)

※アンダーラインはR5からの参加校

### ラウンドテーブル参加高校(14校15名)

大館鳳鳴高等学校、秋田北鷹高等学校、秋田高等学校、角館高等学校、横手高等学校、能代松陽高等学校、金足農業高等学校、秋田北高等学校、大曲高等学校、秋田商業高等学校、秋田南高等学校、本荘高等学校、湯沢翔北高等学校、秋田工業高等学校

## ➤ 参加者からの意見

～ 令和5年度第1回及び第2回「ラウンドテーブル」参加者(高校生)アンケートより ～

- ✓ みんなそれぞれ夢を持っていることが分かった。  
女性だからということにとらわれず、沢山のことに挑戦していきたいと思った。
- ✓ 同世代と話せたことで自分の視野が広がった。
- ✓ 一人一人悩みがあり、年齢が異なってもその悩みや不安を共有できたことは良かったと感じた。

## ➤ 教育庁への依頼事項

- ◆ 「ラウンドテーブル」の取組の周知
  - ◆ キャリア形成や学びの場としての積極的な活用
- 参加に向けた各学校への呼びかけをお願いします。